

R6 諏訪南中学校グランドデザイン

《 諏訪市の教育理念 》

誰もが輝き 誰もが幸せ 新たな時代を切り拓き つながり続ける学びの和

学校の使命(小中一貫教育 未来創造「あい」プラン)

○登校・適応支援といじめ防止 (認めあい)

○インクルーシブ教育の推進 (支えあい)

○学びの改革と小中一貫教育 (学びあい)

保護者・地域の願い

- ・笑顔で楽しい学校生活を送ってほしい。
- ・学力と体力を身につけてほしい。
- ・いじめのない安心な学校であってほしい。

南部3校(四賀小 中洲小 諏訪南中) 小中一貫教育 学校教育目標

【自分と友だちを大切に し 夢に向かってあゆむ】

目指す子どもの姿

- I 自分を見つめ、自分を支えてくれる全ての人や物事に感謝できる南部の子 (感謝)
- II 友とつながり、友のよさに学び、互いに高めあう南部の子 (協調)
- III ふるさに学び、自分のよさを活かしながらチャレンジする南部の子 (創造)

南中生のあい(愛)言葉 「感謝・協調・創造 ～夢叶うまで挑戦～」

教育重点1

○生徒も教師も課題意識をもち、生き方や学びを自己更新する学校

(1)生徒と教師で創る授業

- ・自ら「問い」を作り、追究の見通しをもつ学びの場をつくる。
- ・すべての教科で話し合い活動の充実を図る。
- ・授業や単元の終末で学んだことが自覚できる。

(2)自己肯定感や自己有用感が実感

できる総合的な学習「ゆめかなタイム(諏訪学)」や「ものづくり学習」(小中交流/地域連携)

(3)スクールDXの推進

小中一貫教育に向けた算数数学の学びの接続

教育重点2

○生徒も教師も自己肯定感や自己有用感が高まる学校

(4)教師と生徒、生徒同士の信頼関係を築く(挨拶・教育目標の共有・道徳)

【小中交流・地域交流の可能性】

- (5)「わくわくタイム」の充実
- (6)命や心身の健康の大切さを自覚できる健康教育と防災教育
- (7)豊かな食生活と感謝の気持ちを育てる食育
- (8)小学校や地域とつながる生徒会
- (9)「読書」「清掃」で育む豊かな心
- ※ 総合的な学習「ゆめかなタイム(諏訪学)」や「ものづくり学習」で自己実現を目指す(教育重点1再掲)

教育重点3

○生徒一人ひとりが尊重され、安心な居場所である学校

(10)保護者や地域との連携による特別支援教育・通級教室

(11)適応支援(校内中間教室運営)と日本語支援の充実

(12)学級経営と教科指導に生きる人間関係検査(アセス)の結果共有

(13)「生徒へ寄り添う」ための情報共有とチーム支援

(14)年3回の「相談週間」の実施(生徒/保護者対象)

(15)生徒と保護者による学校評価の分析と改善

(16)国型CS「学校運営協議会」からの助言

目指す教師像

「本立而道生(もとたちてみちしょうず) 物事の根本が確立すれば、自ずと道は開ける」
生徒一人一人が「もの・ひと・こと」との関りを深め、今ある自分を見つめながら自己肯定感や自己有用感を高めることのできる学校を目指したい。そのために、生徒、保護者の「喜怒哀楽」を受け止め、生徒と共に学ぶ存在である教師集団を目指す。

①各学年ですべての生徒と教師が関わるゆるやかな学年担任制

(道徳授業、学活、読書、給食、清掃、わくわくタイム、ゆめかなタイムなど)

②生徒や保護者の喜怒哀楽を受け止め、寄り添い、共に歩む教職員

(生徒や保護者の相談に応える教師)

③生徒のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教職員集団になるための、職員会議・学年会・教科会(問題解決に方向性を出せる集団)

④教育に対する情熱と使命感を持ち、研究と修養(研修)に努め、向上意欲をもつ教職員

(諏訪市教職員会ならびに小中一貫南部3校の教師研修交流)

⑤組織人として責任感と協調性を有し、服務規律の厳守・綱紀粛正に努め、信頼を得られる教職員(非違行為の根絶)